

「スワップミート」初開催



きょう開幕



市内と都内の学生トーキーも

桐生の産業と文化を発信するイベント週間「桐生ファッショントーク」(FW、実行委員会主催)が29日開幕した。11月7日までの10日間、ものづくりのまち桐生の魅力に触れる

られる多彩なイベントを開催。30、31の両日は、メイシアターで「桐生市内各所で展開するイン会場の有鄰館（本

なる今回は、繊維産地・桐生の魅力を体験するイベント「桐生テキスタイルマニス」の

田どもに午後1時から
"本音トーク"を交わ
す。

ンチャヤー「イールド」のメンバーである群馬大や前橋国際大などの学生と、都内の学生が討論。「内から見た桐生・外から見た桐生」を共通テーマに、30、31の両

2時からは、染色加工のアート（相生町二丁目）の伊藤久夫社長によるトークショー「廃産シルクを使つたものづくり」や、着物関連のワークショップなど

も行う。
ファンション専門職
大のイベントは両日とも午前10時から午後4時まで。有鄰館では他に松井二ネット技研ア

ウトレットセールや
「藍と草木染の彩り展」
なども開催中。

町二丁目)で、国際ファッショング専門職大学(東京)の学生によるイベントが初開催される。洋服の交換会「ファッショングスワップミート」や、群馬大生らとのトークセッションなどを通じ、桐生の街と交流する。

同大は2019年開設の新しい大学で、今年度から桐生で「産地概論」のゼミを通年で開き、企業訪問やものづくり体験などを実施している。FW初参加と

一環として、学生たちが企画したさまざまなイベントを展開する。ゼミ生らが東五丁目の染色工場「桐染」で体験した「洋服の染め直し」の成果物を展示するほか、着なくなつた洋服を来場者どうして交換し合う「ファッショングランプミート」を開催。価値を循環・再生させる「アップサイクル」や「サステナブル」をテーマにしたイベントだ。

「ウトレットセール」や
「藍と草木染の彩り展」
なども開催中。
FWではこの他、織
物などの企業が「オー
ブンファクトリー」を
開催中。イヅハラ産業
(広沢町二丁目)では、
帶地で小物をつくるブ
ランド「龍匠錦」と、シ
ルクのアクセサリーブ
ランド「ミックモック」
と共同でのワークショ
ップなどを31日まで開
いている。



オープンファクトリーやワークショップなどのイベントが開幕した（イヅハラ産業で）

ウトレットセール「藍と草木染の彩り展」なども開催中。
FWではこの他、織物などの企業が「オーブンファクトリー」を開催中。イヅハラ産業（広沢町一丁目）では、帶地で小物をつくるブランド「龍匠錦」と、シルクのアクセサリー「ブランド「ミックモック」と共同でのワークショップなどを31日まで開いている。
問い合わせはFW実行委事務局（ココト王内、電46・7486）へ。